

未来への 懸け橋となる 静岡大学をめざして

今、私たちは21世紀という時代を生きています。この時代は20世紀とは異なり、私たちが直面する事柄の多くが、これまで経験したことのないような規模と速さで私たちの前に姿を現しています。まさに不透明感が漂い、先行きを見通すことが難しいというのが現代社会なのかもしれません。このような時代であるからこそ、物事の本質を読み解き、さらに科学技術の進歩と発展に一層の貢献をする「知の拠点」としての静岡大学に期待されていることは多いと言えます。

一方で、国立大学をめぐる環境は年々厳しさを増しています。予算の面での制約に加え、様々な形での社会的評価の目にさらされていることも確かです。しかし、このような状況の中にあっても、静岡大学はこれからも静岡県全体の均衡ある発展のために貢献する総合大学としての地歩を固めていくことが必要とされています。そして、地域の皆様との多様な形を伴う連携のもとに、静岡大学はこれからも未来を紡ぎ出す人を育て、さらに未来を切り拓く研究を進めるため、力強く前進していきたいと考えています。

国立大学法人静岡大学長
日詰 一幸

HIZUME Kazuyuki
1955年8月 長野県生まれ
専門分野 行政学

1991年3月 名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程中途退学
1991年4月 名古屋音楽大学専任講師
1996年4月 静岡大学人文学部助教授
2000年4月 静岡大学人文学部教授
2017年4月 静岡大学人文社会科学部部長
2021年4月 第16代 静岡大学長



人文社会科学部部長
田島 慶吾

人文社会科学部には、4つの学科(社会学科・言語文化学科・法学科・経済学科)があり、人文科学だけでなく、社会科学全般について学ぶことができます。教員が実に多様ですので、多様な意見や考え方と出会うことができます。

本学部には、面倒見のよい教員がたくさんいます。多くの国からの留学生の受け入れ、また留学を促す取組にも力を入れています。

〈プロフィール〉
専門は経済学。好きな言葉は「明日できることを今日するな」。好きな映画は「シベールの日曜日」。ネコが好きです。好きな食べ物は肉全般。



教育学部部長
熊倉 啓之

教育学部は、将来の教員を目指す意欲的な学生と、人文社会系から自然科学系、スポーツ・芸術系まで、多岐にわたる専門性を有した教員が、協働的に教育・研究活動を行っています。

これからの社会をリードし支えていく人材の育成を担う「教員」は、どれだけA!が進歩しても大変重要かつ魅力的な職業です。教員を目指す人は、ぜひ静大へ!!

〈プロフィール〉
専門は数学教育学。好きな言葉は「一期一会」。趣味はウォーキング、ハイキング、テニス。好きな食べ物はモンブランとうなぎ。



情報学部部長
笹原 恵

情報学部には、情報科学科、行動情報学科、情報社会学科の3学科があり、広い視野から実践的な情報学の教育研究を行っています。プログラミングやAIなど最先端の情報技術を追求しつつも、人間を深く見つめ、豊かな社会の創造をめざしています。「文工融合」を旨とし、自由闊達・融通無碍が学部の特徴です。

〈プロフィール〉
専門は社会学、女性学。好きな言葉は「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに」(井上ひさし)。趣味は映画・音楽鑑賞。好きな本はボーヴォワール『第二の性』。



理学部部長
田中 直樹

高校で学ぶ理数5教科の名を冠する5学科で構成する理学部には、放射科学教育研究推進センター、イノベーションとグローバルの観点を備えた基礎科学を活かせる人材を育成する創造理学コース、地域と繋がる「キャンパスミュージアム」などがあります。少人数制のきめ細やかな教育、新しい技術や材料を開発し「ゼロ(無)」から1(有)を生み出す研究、技術営業など様々な社会ニーズに応える人材を輩出しています。

〈プロフィール〉
専門は数学。好きな言葉は「自分を励ます言葉を心の中にもて」(松下幸之助)。趣味は将棋。好きな食べ物は甘いもの全般。



工学部部長
喜多 隆介

工学部はものづくりの盛んな東海地区、浜松市に位置しており「新しいことに挑戦し創造する!」という気風が流れています。素直で真面目な学生が多いです。

超小型人工衛星の開発や超高感度・超高速イメージセンサーの開発をはじめとする世界トップレベルの研究が進んでいます。毎年多くの卒業生が有力企業に就職し、日本を支えるさまざまな企業で幅広く活躍しています。

〈プロフィール〉
専門は電気電子材料工学、超伝導工学。好きな言葉は「欲を離れて人の為に尽くす」。趣味はウインドサーフィン、ボーリングなど。



農学部部長
鳥山 優

農学という幅広い学問領域の中でさまざまな新しい研究を精力的に行っています。地域産業との連携を大切にしており、学生もそのような環境で育っていきます。学生と教員が一体となって、教育と研究の魅力を高めようと頑張っています。新築したばかりの農学総合棟には、ゆとりのあるフリースペースや生協・食堂があります。

〈プロフィール〉
専門は細胞生物学。好きな言葉は「当たり前のことを当たり前と決めつけない」。趣味は登山(八ヶ岳)、電気工作(アンプ作り)、フラメンコギター、数理パズル。好きな食べ物は伊達巻、メロン、カフェラテ。



地域創造学環部長
江口 昌克

フィールドワークやインターンシップが充実しています。「地域とともに学び、地域とともに成長する」プラットフォームが完成しつつあり、入学後、何を見つけ何を学ぶか、それを考える手がかりに溢れています。学環の教育は「対話」を基調とし、学生の知への探求心に応えてくれる教員が数多くいます。今後、学環生の居場所として地域創造学環棟がリニューアル予定です。

〈プロフィール〉
専門は臨床心理学、コミュニティ心理学。好きな言葉は「stay weird, stay different」。好きな本は「夜と霧」。好きな食べ物は浜名湖のうなぎ。